

医薬品開発及び製造販売後調査・研究における 医療ビッグデータの実践的利用法を考える

日時 令和2年1月10日(金) 10:00~17:50

会場 日本薬学会長井記念館 長井記念ホール

<午前>

趣旨説明

10:00-10:05

実行委員長 国立医薬品食品衛生研究所 医薬安全科学部 斎藤 嘉朗

基調講演

10:05-10:45

医療情報データベースの特性と解析 京都大学 大学院医学研究科 健康情報学分野 中山 健夫

第1部 アカデミアにおけるデータベース研究 (座長:国立医薬品食品衛生研究所 青木良子)

10:45-11:05 薬剤疫学研究のためのデータベースの取り扱いについて

国立医薬品食品衛生研究所 医薬安全科学部 今任 拓也

11:05-11:35 ナショナルレセプトデータベースを用いた周術期せん妄の発症要因に関する研究

名古屋市立大学 大学院薬学研究科 レギュラトリーサイエンス分野 頭金 正博

11:35-12:05 病院/医療情報の市販後安全性評価における利活用性の検討

国立医薬品食品衛生研究所 医薬安全科学部 佐井 君江

<午後>

第2部 GPSPや企業における承認申請・安全対策のためのデータベース等の活用

(座長:斎藤嘉朗、日本イーライリリー・前田玲)

13:10-13:40 リアルワールドデータの薬事承認への利活用は可能か? ~現状と課題~

横浜市立大学 医学部 臨床統計学/データサイエンス推進センター 山中 竹春

13:40-14:10 MID-NETの構築と本格運用

医薬品医療機器総合機構 医療情報活用部 宇山 佳明

14:10-14:40 MID-NETの医薬品安全性評価への活用

医薬品医療機器総合機構 医療情報活用部 本村 春香

14:40-14:50 休憩

14:50-15:20 MID-NET利活用の経験から得られたこと

MSD(株) 下寺 稔

15:20-15:50 製造販売後調査としてMDVデータベースを企業が利用する際の留意点

日本イーライリリー(株) 小林 朋子

15:50-16:20 細胞療法レジストリを用いた製造販売後調査及びデータ利活用について

ノバルティスファーマ(株) 宮城島 久海

造血細胞移植レジストリを基盤としたCAR-T細胞療法データ収集・管理体制の構築

日本造血細胞移植データセンター 熱田 由子

16:20-16:50 PV活動のためのJMDCツール:仮説生成と仮説検証の間に

中外製薬(株) 青木 事成

16:50-17:00 休憩

パネルディスカッション

17:00-17:45 医療ビッグデータの実践的利用推進に向けて

閉会挨拶

17:45-17:50

日本薬学会レギュラトリーサイエンス部会 部会長 矢守 隆夫

参加申込:事前登録・振込(定員200名・満席になり次第、登録は締め切ります)
一般会員 3,000円, 学生会員 1,000円, 非会員 4,000円 (事前申込みは令和元年12月25日まで)

<http://www.nihs.go.jp/mss/16rsforum.html>

問合せ先:国立医薬品食品衛生研究所 医薬安全科学部内 第16回フォーラム事務局

TEL: 044-270-6623 e-mail: rsf-16@nihs.go.jp



お申し込みは
こちらから